

NotebookLMのFXにおける活用法

1

相場環境を構造的に記録・分析する

2

重要指標・要人発言・ニュースを時系列で整理

3

自分のトレードログや心理状態の記録・改善

4

テクニカルやファンダの「自分なりの使い方」を蓄積

5

AIと一緒に再利用可能な知見を作る

全体解説

さて、こちらの資料ですが、私がAIで30分くらいで作成した、別PDFの補足資料となります。

こっちは私（セナイ）がリアルに文章書いて作ってます。あ、内容は一部AI使ってますけど。

なんのためにこれ用意したのかというと、さすがにAIが作った資料だけだと内容が弱いかと思ったから、なのですが、じゃあAI作成資料を再編集すればいいじゃん、って話だったんですが、Genspark作成スライドを改めてGoogleスライドで編集する方が面倒だったため、こういう形をとりました。

あと、ついでにその資料のAIでの作成方法も最後にちょっとだけ付け加えてます。むしろそっちの方が役立つ方もいるかもしれません。おまけなんです。

全体解説

NotebookLMの話ですが、これ、使い方によっては本当に神ツールです。

ぜひぜひ、フォロワーの皆様にも触ってみていただきたい。知らなかった、という方は特に。無料で使えてこのクオリティは正直やばいです。

チャットGPTとの違いは、WEBからデータを拾ってくるのではなく、追加した情報からしかデータ分析できない点で、これが何より優れています。

つまり、自分が入れたデータをノイズなく分析してもらえるからです。

今回紹介する使い方も一部で、色々と応用できる部分は多いと思います。

特に兼業の方は、本業の方で使える部分もきっとあることでしょう。

ぜひ色々試して、FXの分析に、本業に、活用されてみてください！

1.相場環境の構造的な記録・分析

「日次相場分析ノート」を作成する

例えば・・・

7/8 ●ドル円：米雇用統計で上昇 → 160.3円付近で上髭つける

●パウエル発言「データ重視」 → 利下げ観測やや後退

7/9 ●クロス円調整入り

●ユーロ圏小売売上 予想下振れ → EUR売り加速

→ これをNotebookLMにまとめておけば、「今週のドル円上昇要因は？」 「過去に似た値動きはいつ？」と自然言語で検索・要約が可能になります。

2.重要指標・要人発言・ニュースを時系列で整理

経済指標・要人発言データベース化

FOMC議事要旨、日銀会合、ECB発言などの公式資料をアップロードすることで、「過去一年間のFOMCで利下げを示唆したタイミングは？」のようなドキュメント横断型の質問が可能になる。

経済指標も「米CPIの直近6回分の結果と市場反応をまとめて」と指示すれば、表形式で整理してくれる

3.自分のトレードや心理の記録・改善

トレード日誌・感情ログの蓄積と振り返り

「なぜこのトレードをしたのか？」 「どんな相場観を持っていたか？」を
言語化して記録

自分のミス・迷い・成功パターンも蓄積すれば、AIに「過去の同じようなミス
は？」と聞ける

ChatGPTに「この日のトレード、心理的にどう分析できる？」と相談すること
で、自己分析の精度も上がる

4.テクニカルやファンダの「自分なりの使い方」を蓄積

テクニカル検証ノートの構築

「東京時間にブレイクした後の欧州時間の動きパターン」

「ニューヨークの指標後のパターン」など、

検証結果をPDFやテキスト化してNotebookLMに入れておくと、自分だけの検証データが完成する

5.AIと一緒に再利用可能な知見を作る

発信・教育にも応用可能

NotebookLMに蓄積した分析をもとに、Xでの投稿やnoteでの投稿に活用できる

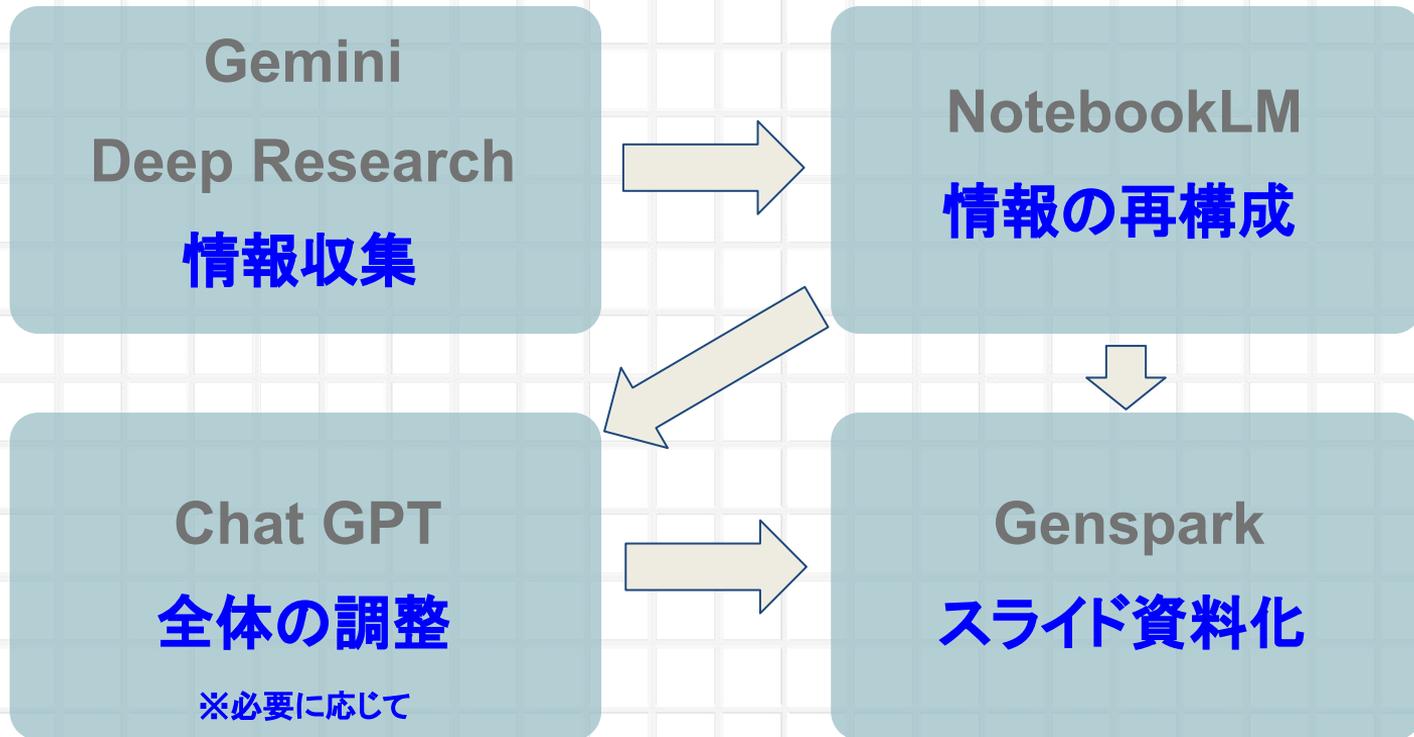
「今週のポイント3選」や、「FOMCのポイント要約」や「ドル円過去データ検証」など、トレーダー間でのアウトプットにも強い

AIをフル活用した資料作成法

Google のGeminiからスタートし、NotebookLMで調整し、Gensparkで資料化します。

(他のルートもありますが、現在私の体感での最も効率的な流れです。)

※スライド化がGoogleでもっとシンプルに完結できるようになれば、さらに簡単になるはず・・・！



資料作成方法.DeepResearchの活用

何らかの資料を作りたいときには、まずは情報が必要です。都度チャットGPTに聞いてもいいのですが、より深く詳細を調べるなら、GeminiのDeepResearchがお勧めです。

チャットGPTもDeepResearch機能を搭載してきていますが、ここに関しては現状まだGemini優勢の印象です。

そのデータをそのまま資料化するには、内容がかなり重たいため、いったんnotebookLMにドキュメントデータとして入れてしまいます。そのうえで、そのデータの中からわかりやすく抽出してまとめてもらい、資料化しやすい形にします。

資料作成方法.NotebookLMからGenspark

notebookLMである程度満足できる内容が出来たら、そのままスライド資料にするために、Gensparkスーパーエージェントを利用します。

スライド資料化は、他のツールもあるようですが、現状私のイメージに一番近い理想的なスライドを作ってくれたのがGensparkでした。

ただ、Googleスライドとの相性がやや悪いため、PPTXファイルにして修正するのはちょっとめんどいです。レイアウトが崩れたりするので。

ここは、早くGeminiがGoogleスライドへのいい感じの資料作成に対応するのを待つばかりです。

あ、あと、Gensparkはお試しはできますが、基本は有料ですのでご注意ください！

資料作成方法.NotebookLMからGenspark

ということで、ざっとではありますが、フォロワー様向け情報共有スライドでした！

もし少しでも役立った！とっていただけたなら、いいね、できればリポストなどしていただけるととてもうれしいです！

正直、チラッと有料noteとかにしようかな、と思いましたが、まあ大した内容でもないし、そんなことするくらいならFXで稼いだが早いですし、フォロワー様向け配布としました！

気が向いたら、ブログ記事のDMMFX広告から口座作って使っていただけると最高にうれしいですが、まあ、使う機会があれば、ということで大丈夫です。

ではでは、皆様の爆益や生活の何かのお役に立てますように！

THANK YOU !

